

MacOS からリモートデスクトップ中継サーバへの接続手順

関西大学 OD 教室システムのリモートデスクトップ中継サービスは、Windows からだけではなく、MacOS (の一部¹) から利用可能です。

「Windows からのリモートデスクトップ中継サービス利用手順」にある手順は以下の通りです。

1. リモート中継サーバへの接続手順
2. リモート中継サーバの切断手順
3. 瞬快コンソールの操作手順
4. 利用終了時の操作

ここで、MacOS からリモートデスクトップ中継サービスを利用するためには、「1. リモート中継サーバへの接続手順」の操作が Windows と異なります。そこで本文章では、MacOS からリモート中継サーバへ接続する手順を説明します。

1 準備

App Store から「Microsoft Remote Desktop」(無料)を事前にインストールして下さい。MacOS から Windows 機へのリモート接続を行う際には、本アプリが必要になります。

2 リモート中継サーバへの接続手順

2.1 SSL-VPN 接続

まず、SSL-VPN 接続を行います。

OD 教室のホームページ (<https://www.od.eng.kansai-u.ac.jp/>) にある「SSL VPN 接続」にアクセスして下さい。すると、「PulseSecure」のログイン画面 (図 1) になるので、OD 教室の PC にログインするときの Username/Password (全学認証のユーザ名・パスワードと連動しています) を入力してログインします。



図 1: PulseSecure のログイン画面

ログインしたら、「クライアントアプリケーションセッション」の「Pulse」から「開始」を選択します (図 2) (初回は、誘導に従って PulseSecure アプリケーションのインストールを行う必要があります)。これは SSL-VPN 接続を実施する操作になっており、接続が成功すると図 3 のような表示になります。

¹いくつかのバージョンから利用可能であることがわかっています。お手元の Mac から接続できるかどうかは、直接試すことで確認して下さい。

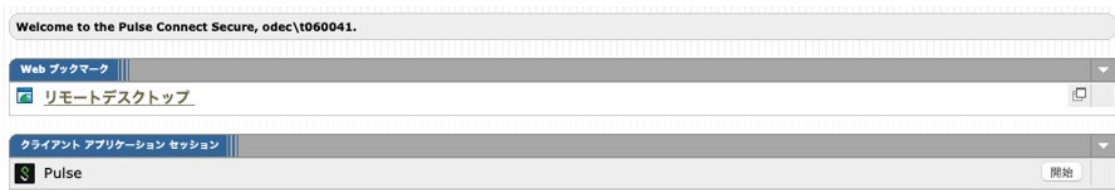


図 2: PulseSecure へのログイン後の画面



図 3: SSL-VPN 接続が成功したときの様子

2.2 リモート中継サーバへの接続

次に、リモート中継サーバへ接続します。

「Windows からのリモートデスクトップ中継サービス利用手順」の p.3 の④ から p.5 の⑧ までを行うと、p.6 の⑨ のようにリモートデスクトップ接続用の RDP ファイルがダウンロードされるので、これをダブルクリックします。

すると、Microsoft Remote Desktop が起動します（もし RDP ファイルを開くアプリケーションの選択を求められたら、Microsoft Remote Desktop を選んで下さい）。Username/Password の入力を求められますので、OD 教室の PC にログインするときの Username/Password を入力します（図 4）。なお Username は“odec”の後ろにあるバックスラッシュに続けて入力します。リモート中継サーバへのログインが完了すると、図 5 のようになります。

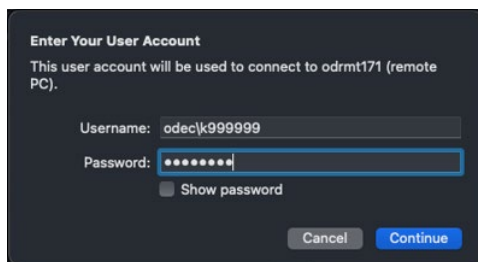


図 4: Microsoft Remote Desktop によるパスワード入力画面

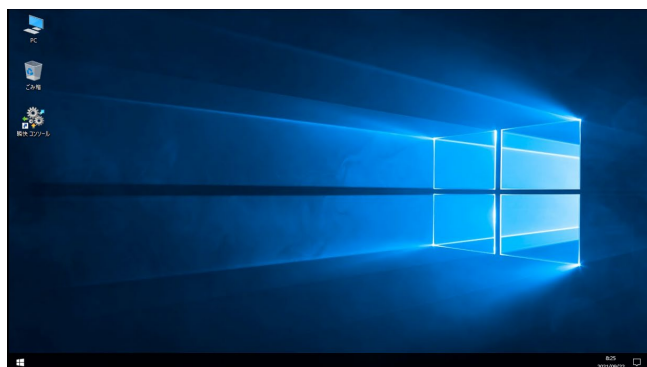


図 5: 中継サーバへのログインが完了したときの様子

3 リモート中継サーバへの接続後の操作

これ以降の操作は、「Windows からのリモートデスクトップ中継サービス利用手順」の p.9「3. 瞬快コンソール操作手順」と同様になりますので、そちらを参照して下さい。

なお、利用終了時は、「Windows からのリモートデスクトップ中継サービス利用手順」の p.16「4. 利用終了時の操作」を必ず行うようにして下さい。

以上